

別記様式（第4条関係）

会議録

会議の名称	第2回加東市総合計画審議会		
開催日時	平成24年11月8日（木）午後3時から午後5時まで		
開催場所	滝野図書館 3階 会議場		
議長の氏名（会長 原田智仁）	出席及び欠席委員の氏名		
	<出席委員> ・石井克枝            ・原田智仁            ・橋本匡史 ・松尾孝明            ・田尻えりか        ・藤本善仁 ・横山和史            ・前田隆之            ・渡辺真希 ・吉田伊佐見        ・芝田恵美 ・梅野巨利            ・内藤直子		<欠席委員> ・高瀬俊介 ・岡島麻由子 ・柳本勇治
出席した事務局職員の氏名及びその職名	・副市長（企画部長事務取扱） 山田 義人 ・企画部企画政策課 課長 芹生 修一 ・企画部企画政策課 副課長 長谷川 茂 ・企画部企画政策課 主幹 前中 公和  ・(株)地域計画建築研究所 部長代理 田口 智弘 ・(株)地域計画建築研究所 部長代理 小阪 昌裕		
1 議 題	(1) 前期基本計画のふりかえりについて (2) 後期基本計画（案）に対する委員の意見とその対応について		
2 会議資料	(1) 第2回加東市総合計画審議会資料		
3 会議の経過	⇒別紙「第2回加東市総合計画審議会・会議の経過」のとおり		
平成25年3月13日	会長 原田 智仁  副会長 高瀬 俊介 		

(別紙) 第2回加東市総合計画審議会・会議の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
事務局	<p><b>1 開 会</b></p> <p>第2回加東市総合計画審議会を始めさせていただきます。            本日は、高瀬副会長、岡島委員、柳本委員が都合により欠席でございます。            副市長の山田は、別の公務が急きょ入ったため、終了次第出席させていただきます。</p>
会 長	<p><b>2 あいさつ</b></p> <p>前回の審議会で提示されました後期基本計画(案)に対して、9人の委員から意見提出がありました。本日は、いただいた意見をどのように計画に盛り込むかを中心に、審議会を進めていきます。            本日と次回の審議会が、パブリックコメントに付するための原案を審議する貴重な時間になりますので、忌憚のない意見をお願いします。</p>
会 長	<p><b>3 協 議</b></p> <p><b>(1) 前期基本計画のふりかえりについて</b></p> <p>前回の審議会で「前期基本計画をどう総括、評価して後期につなぐのかということ、もう少し明確にするほうがよいのではないか。」という意見がありましたので、事務局で「前期基本計画でできなかったこと」を資料としてまとめたいただきました。</p> <p>&lt;事務局から、資料No.1について説明&gt;</p>
委 員	<p>資料No.1のP.2の市の訪問介護事業所に関する記載で、「介護保険対象者は民間事業者に移行し、障害福祉サービスに特化」とありますが、ヘルパーの人数は減るのでしょうか。</p>
事務局	<p>市の訪問介護事業は、昨年度に事業仕分けの対象事業にもなりましたが、民間に委ねる事業であるということが基本的な考え方です。しかし、現状では障害者に対応できる民間事業所がないため、直ちにではなく、例えば社会福祉協議会などで受けていただく土壌を整えば移行するというように考えています。</p>
委 員	<p>「医療の充実」について、加東市民病院の医師の不足が書かれていますが、この不足の原因は何なのか。医師に対する待遇なのか、それとも施設の可能性があるのでしょうか。</p>
事務局	<p>医師不足は、医師免許取得後2年間は研修を受けないと現場に出られないとい</p>

	<p>う臨床研修制度が創設され、学生が研修先を出身大学の医局とせず、様々な症例を経験できる都市部の病院を志向する傾向にあるためと捉えています。</p> <p>したがって、加東市民病院の施設が古いからや待遇面などが理由でなく、医師の都市部への偏在が原因で、加東市民病院だけの問題ではなく、多少の差はあれ近隣はどこも同じであろうと思います。</p>
委員	<p>政策Ⅳの「森林の保全」について、どこへ行っても赤茶けた松ばかりで、農薬か何かを散布して松くい虫の増殖を止めるような策はあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>松くい虫の防除については現在、どのように行っているのか詳細を把握していません。</p>
会長	<p>各論よりも大きく後期基本計画に盛り込むものとして「これで適当か」という視点からご意見をいただければありがたいと思います。</p>
委員	<p>資料No.1の P.3、政策Ⅴの「良好な住環境づくり」の2番目「既成市街地などにおける社会資源や地域特性を生かした再整備は実施していません。」の対応として、「後期基本計画の計画期間で再整備を予定していないことから、削除しました。」とありますが、計画期間でできなくても「地域の特性を生かした都市の拠点づくり」という主要施策で、商店街等の狭い範囲ではなく、人々が集う拠点づくりが必要だと思います。</p>
事務局	<p>全体的なまちづくりとしては、総合計画の P.21「基本構想」で都市構造を示し、「都心ゾーン」「田園文化ゾーン」などまちづくりのかたちを描いています。例えば、南山は「新都市ゾーン」として、社地域や滝野地域の市街地、市街化区域は「都心ゾーン」として、当然、整備していく必要があります。</p> <p>しかし、後期基本計画の5年間を捉えたときに、期間内で既成市街地の再整備に着手する方向性が見えない中で、計画に書き込むことは非常に難しいと考えています。</p> <p>従来からあるまちの中心や国道372号と175号の交わる部分、南山など、地域の特性を活かした都市の拠点として重要なゾーンだと、前期基本計画から引き継いで捉えていますので、ご理解ください。</p>
会長	<p>これまでの意見などは、次の協議と関連していますので、協議(2)に移りたいと思います。</p>
	<p><b>(2) 後期基本計画(案)に対する委員の意見とその対応について</b></p> <p>&lt;事務局から、資料No.2, 3のうち政策Ⅰ, Ⅱについて説明&gt;</p>
委員	<p>「水と緑の保存と創造」に関して、社高校から兵庫教育大学につながる学園道路にツツジの植え込みがありますが、毎年、暑い真夏に草が生い茂り見苦しい状況になっています。しかし、草刈りは涼しい風が吹く秋になってからのようで、</p>

事務局	<p>どうにかならないのでしょうか。</p> <p>県道のため、県が定期的に維持管理されていると思いますが、詳細は把握していません。</p> <p>市道も延長が 500km 以上ありますので、全ての市道を市民の税金で管理していくのは難しい状況です。県の制度でアドプト制度という一つの区画の維持管理を市民の方をお願いするという制度がありますが、将来的にはそういう制度を取り入れて地域で管理をしていただくような仕組みづくりをしていかなければならないのではないかと考えています。市民の方をお願いして、できるだけ協力していただきたいというのが市としてお答えできる範囲です。</p> <p>&lt;事務局から、資料No. 2, 3のうち政策Ⅲ, Ⅳについて説明&gt;</p>
委員	<p>基準単収の増加の件ですが、加東市は米どころで野菜などを作っているところは少なく、おそらく生産量は米が一番多いと思います。それで、基準単収が5年ほど前に少し増えましたが、そうなるとうちでも米を作る人が減ってしまいます。転作が増えて、転作作物である加工米や飼料米が作付け可能になる田んぼ自体は増えるのですが、基準単収が基本なので、基準単収が上がると加工用米や飼料米の国への契約量が増えてしまい、どうしても厳しい契約内容になってしまいます。その上、ここ数年、高温障害が出てとれる量も減っていますので、そろそろ見直す時期にきているのではないかと思います。</p>
事務局	<p>専門的なご意見ですので持ち帰りまして後日、お答えさせていただきます。申し訳ありません。</p>
委員	<p>市民参加の加東市を創ろうという今後5年間のビジョンを考えていくためには、人口を増やそう、地場産業で地域を活性化して税収入も増やそうというのであれば、そのために何をしていくべきなのかということを考えなければなりません。計画案の中に良いことがたくさん挙げられていますが、これが実現するかというのは、それだけのことを考えていかなければできないのではないかと思います。</p> <p>何から何まで行政がすべきことなのかということも整理すべきではないかと思います。人口を4万人、5万人にするためにはどうすればよいかということも皆で考えていけば、楽しい話もできるのではないかと考えられます。その辺りはどのようにお考えでしょうか。</p>
会長	<p>基本計画の原案がありますので、今から大きく変更するのは難しいと思いますが、いろんな人の意見を聞いていくと結局は総花的になって、実施不可能になるというご意見だと思います。回答は難しいと思いますが、何かありますか。</p>
事務局	<p>加東市の人為的な資源はもちろん、ハード施設が上手く使い切れていない、また、情報発信不足があると捉えています。</p> <p>例えば、東条湖おもちゃ王国には年間 50 万人、10 数年で 600 万人の来場者が</p>

<p>会 長</p>	<p>あると伺いましたが、それを加東市のまちづくりに活かしてきたかと考えますと、なかなかそうなっていません。また、40 数社が市内の工業団地で創業いただいています。それらの企業と市民との関わりを考えますと、それぞれは存立しているけれども十分な連携が取れているとはいえないと思います。</p> <p>したがって、合併してからのいろんな団体や市民の交流がありましたが、それが本当に加東市のための交流に結び付いているかと考えた中で、今回の総合計画の「協働」においては、今まで市が実施するための計画だったものを、もう少し市民の皆さんと一緒に考えながら、市民の役割、企業の役割、団体の役割というものを明記して、それに対して指標とその数値目標を掲げました。基本的にはできる、したいと思う指標を掲げて計画をつくっているつもりです。</p> <p>加東市の今後5年間の計画ですから、「ある分野は要らない」ということは言えないと思いますので、基本的に必要なところは政策の中に盛り込まれていると思います。</p> <p>ただ、従来のように新しいものを次々につくっていく時代ではないので、今あるものをどう活用しながら無駄を省いて知恵を出し合うかということ、今後、各論でどのように議論するかということになると思います。そのために、これは総合計画の基本原案ですので、今後の見通しをあまり狭めないような書き方が必要だと思いますが、あまり大きくなると、できないものを無理にやろうとしてもダメなので、そこをどう精査するかが問われます。</p> <p>&lt;事務局から、資料No.2, 3のうち政策V, VIについて説明&gt;</p>
<p>委 員</p> <p>会 長</p> <p>事務局</p>	<p>消防団について、後期基本計画では消防団の人数を増やそうということが挙がっていますが、団員を確保する上で一番感じるのが消防団に対する理解がなかなか得られないということです。若い人がいるのに入ってもらえないわけですが、親に断られるという状況があります。本人に会わせてももらえません。</p> <p>したがって、「消防団がなぜ必要なのか」をまず理解していただくということを、第一に挙げてほしいと思います。</p> <p>小学校の社会科では、安全を守る暮らしということで、必ず学ぶのですが。</p> <p>消防団は非常に重要で、地域コミュニティを活性化する組織だと捉えています。アイデアをいただけたら計画に書き込んでいきたいと思っています。</p> <p>やはり地域の中で働きかけて、「一緒にやっぺいこう」と盛り上げていくことも一つの方法ではないかと思っています。</p>
<p>会 長</p>	<p>様々な意見がありましたが、各論で書くのは難しいと思いますので、総論かどこかで、これからの加東市のあり方を考えていく時に、限られた資源と限られた予算と、人口が減少するかもしれないし、お年寄りが増えていくという中で、誰もが何かを期待して市や行政側に依存するだけではなくて、消防団や道の除草等を含めて、みんなでまちづくりをしているということを提言していくことは大事ではないかと思っています。多分どこかに書いてあると思いますが。</p>

事務局	<p>後期基本計画(案)P.2 に、この計画の位置付けとして、一つは「市の将来像を実現するための行政経営計画」、もう一つは「市民と協働で進めるまちづくり計画」であることを示しており、行政だけでなく市民の方や事業者の方にもいろいろな取組をしてほしいということを併記する中で、まちづくりを進めていく計画としていますので、ご協力いただきたいと思います。</p>
	<p>(3) 次回の審議会の日程について</p> <p>&lt;多数決により、次回の審議会を12月6日(木)午後3時からに決定&gt;</p>
会 長	<p>4 そ の 他</p> <p>&lt;副市長あいさつ&gt;</p> <p>(1) 学生フェスタについて</p> <p>&lt;事務局から、11月11日(日)午前10時から兵庫教育大学で開催する「学生フェスタ」の概要を説明し、参加を呼びかけ&gt;</p> <p>今回は、実質的に最後の重要な審議になりますので、11月末日に審議会資料が送られてきましたら、お目通しいただいて当日、ご発言いただければと思います。</p>
	<p>5 閉 会</p>